

2019年度 活動報告

認知症看護認定看護師

福地 御富貴



実践

（認知症ケア連携グループ：オレンジチーム活動）

- 各部署（小児科・産婦人科・OP室を除く）から所定の認知症ケア向上研修を受講した副師長11名をコアメンバーとして選出

羽沢副部長・木村薬剤師・中川作業療法士

森下（直）医師にもアドバイスをいただき

副師長会の開催に合わせ、4月・6月・7月・9月・11月・1月・3月

計7回定例会を開催

認知症ケア加算対象者数

	14日以内	15日以上	14日以内 身体的拘束	15日以上 身体的拘束
1月	41	21	3	5
2月	30	27	2	4
3月	29	19	0	5
4月	34	21	4	4
5月	36	18	1	6
6月	15	15	3	2
7月	22	8	1	5
8月	38	25	3	2
9月	32	30	2	2
10月	22	17	4	5
11月	33	15	3	6
12月	48	12	5	5
計	380	228	31	51



実践（オレンジチーム）

- 各部署の認知症ケアに関する情報報告
- せん妄予防のためのビデオ作製、配布
- 「高齢者のご家族様へ」「せん妄の説明」パンフレット作製、配布
- コミュニケーションツール「ホワイトボード」「もしもしフォン」配置
- 事例検討 2事例
- ケースレポート「認知症患者のケアについて」共有
- 対応力向上研修参加の受講報告（田山副師長）
- 中川PTよりHDS-R 説明
- 木村薬剤師よりせん妄対応用必要時薬剤セットの検討

実践（多職種協働）

- 作業療法士（中川PT）：2019年6月～12月まで、延べ29名の患者にHDS-R簡易スクリーニング実地。作業療法士の立場から日常生活支援方法のアドバイス
- 薬剤師（木村薬剤師）：術後せん妄ハイリスクと予想される患者に対し、せん妄予防対応として薬剤調整
- 認知症高齢者の眠剤調整、BPSDの薬物使用に対するアドバイス
- 主治医より認知症？の相談を受け放射線科と協働、MRI画像分析を依頼診断、治療開始への補助作業
- 緩和ケア：病棟より高齢者の認知症ケアチームコンサル事例に対し、心不全終末期せん妄と判断し緩和ケアチームへコンサル。薬剤調整とせん妄悪化予防のケアアドバイスによって、穏やかな終末期を迎えた



指導

- ▶ 外来勉強会
 - ▶ 外科病棟への術後せん妄予防対応方法
 - ▶ 自部署での認知症に関する勉強会サポート
 - ▶ 認知症を持つ患者家族への対応方法指導
- 

相談（個別対応）

- 最近洗濯ができない様子で何度も洗濯機と部屋を往復している
- EDチューブ抜去のためミトンを装着しているが、ミトンを噛んでしまう
- 手術目的で入院したが、自分が手術を受けることを理解していない様子
- いつもロッカーをゴソゴソしている
- 活気がなく食事が進まない
- 食事の認識ができず開口しない
- 俳諧
- 些細なことでNsコールを頻回に鳴らす

130件の訪問介入のうち、約60件、看護師長さんやプライマリーNS、オレンジチームメンバーからご相談を頂きました